

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2025年2月3日

事業所名 PARCひがしおおさか

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		お子さまの取り組む活動に応じて部屋の使い分けを行っています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		必ずお子さま1人に対して、1人スタッフがつけるよう配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子さまの遊び方に応じて遊具の出し入れをし、危険のないようにしています。	安全に遊べる空間作りを引き続き行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		ご利用児が来所された際に綺麗な状態で迎えられるよう毎時間片付け・消毒を行っています。また、お子さまに合わせた玩具を配置しています。	ご利用児の特性に合わせて活動ができるような空間を作るように継続して環境を整えていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝、ご利用児の伝達事項を会議にて職員間で共有しています。	より密に職員間の情報共有を行います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者さまからの評価といただいた意見に対しては改善するようにしている。	継続して定期的な保護者アンケートを実施し、業務改善に繋げていく。また意見BOXを設けているため、常時意見を頂きやすい環境を作っておく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価を行い、結果や改善内容を出来るだけ詳細にHP等で公開するようにしている	今後も、頂いた意見に対して自己評価を行い、職員間で共有し、改善すべき点をしっかりと改善できるように努める。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、必要性に応じて外部評価も検討していきたいと思えます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に参加しやすい環境を整えています。また、事業所内でも会議を行い、質向上を図っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者さまにお話を聞き、計画に反映しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたものを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		計画書の中に記載し、説明を行っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		お子さまの活動意欲を引き出し、苦手な活動にも挑戦できるように声掛けや遊びの提案を行っています。	バランスよくすべての項目の支援ができるようにします。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ全員で、お子さま一人ひとりに合った支援方法を考えています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		様々な専門職が在籍しているため、意見を出し合い、様々な方法で支援を行っています。	活動のねらいや意味を保護者さまにもわかりやすく伝え、工夫が伝わりやすくなるよう意識します。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別療育ではありませんが、集団での様子を聞き取り、計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の会議で打ち合わせを行い、確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録を残し、必ず次回利用日までにスタッフ間で共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の徹底を行っている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		お子さまの様子・保護者さまのお話で変化があればその都度支援の方針を決めている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には責任者が基本的に参加している。お子さまの様子は職員間で意見を出し合い、その内容を踏まえて参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		発達障害のお子さまを対象としており、医療的ケア児のご利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				発達障害のお子さまを対象としており、医療的ケア児のご利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて情報共有を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今後、近隣の保育所や幼稚園などと交流も検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後、会議の参加も検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		ペアレントトレーニングを実施している。活動内容を見ながらお子お話をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングを実施している。活動内容を見ながらお子お話をしている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画を作成した者より説明を行い、相違がないか確認したうえで同意をいただいている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者さまとの相談支援の中で検討・助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		希望があれば検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご意見をいただいた際には、迅速かつ適切に対応できるよう努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		おたよりで作成し配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		必要なこと以外に使用しないことを徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝わりやすい方法を模索しながら日々の業務にあたっています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、イベントなど検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルの策定を行っている。また、定期的な訓練を実施している。	必要に応じて、保護者さまへの再周知を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者さまと対応方法の確認を行い、職員間で共有を行っている。また記録に残し、いつでも確認できるようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事を提供することはないが、アレルギーがないかどうかお伺いしている。	変更がないか、定期的な聞き取りを行う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		書類を作成し、会議にて共有を行い、全職員が意識できるようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を受け、再確認の場を設けている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		ご契約時にお伝えをしている。	現在、身体拘束を行わないといけなご利用児の利用はありません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。